



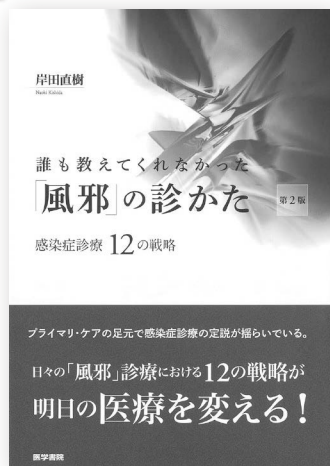
レジデントのための感染症診療マニュアル

第4版

青木 眞＝著

定価 13,200 円／A5 判・1730 頁／医学書院／2020

感染症診療全般を網羅したバイブルの改訂第4版。病原の同定と適切な薬剤選択を基本に、臨床の実践知が学べる。トピックとして新型コロナウイルス感染症（COVID-19）、ゾーニング、薬剤耐性菌（AMR）対策、最新の検査法などを収載した。一線で活躍するエキスパートらの臨床知が凝縮された渾身の1冊。



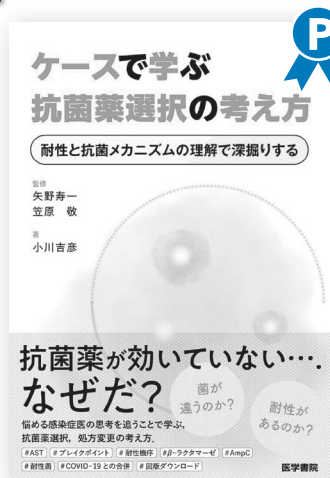
誰も教えてくれなかった「風邪」の診かた

感染症診療 12の戦略 第2版

岸田直樹＝著

定価 3,850 円／A5 判・338 頁／医学書院／2019

「誰風邪（だれかぜ）」の愛称で親しまれる大ベストセラー書が大改訂された。初版で圧倒的な支持を得た、プライマリ・ケアの現場における「風邪と重篤な疾患との見極め方」に磨きをかけたほか、高齢者の風邪診療や薬剤耐性菌など、診療現場を悩ませる重要課題にも明快に処方箋を示した。プライマリ・ケアの足元で感染症診療の定説が揺らいでいる今、日々の「風邪」診療における12の戦略が明日の医療を変える！



ケースで学ぶ抗菌薬選択の考え方

耐性と抗菌メカニズムの理解で深掘りする

矢野寿一、笠原 敬＝監修

小川吉彦＝著

定価 6,380 円／B5 判・328 頁／医学書院／2023

悩める感染症医の思考過程から、適切な抗菌薬選択の考え方を学ぼう！ 抗菌薬の適正使用に必要な、抗菌と耐性のメカニズムについて詳しく解説。症例編では、なかなか効果が発揮されない抗菌薬治療を見直し、菌の同定、耐性の状況などを探っていく過程から、適切な処方選択・変更の考え方を学ぶことができる。感染症診療・管理に携わる医師、臨床検査技師、薬剤師の知識のギャップを埋める1冊。